

やわはだ母さん

母さんは
父さんが単身赴任の間
一人で僕との生活を
切り盛りしてくる

そんな
母さんのために
僕はマツサージを
始めた

ありがとう
ございました

ネットを参考にした
独学だったけど
母さんはすごく
喜んでくれた

すごく
楽になるわ

ありがとう
ジュンくん

ただ最初は純粋に
感謝の気持ち
だったんだけど...

それから仕事帰りに
母さんにマツサージ
するのが
僕の日課となった

ゴクッ

母さん…

なんて
セクシーなんだ…！

次第に別の感情へと
変わっていった…

それは…
つまり…

汗や香水や
フェロモンの
匂い…

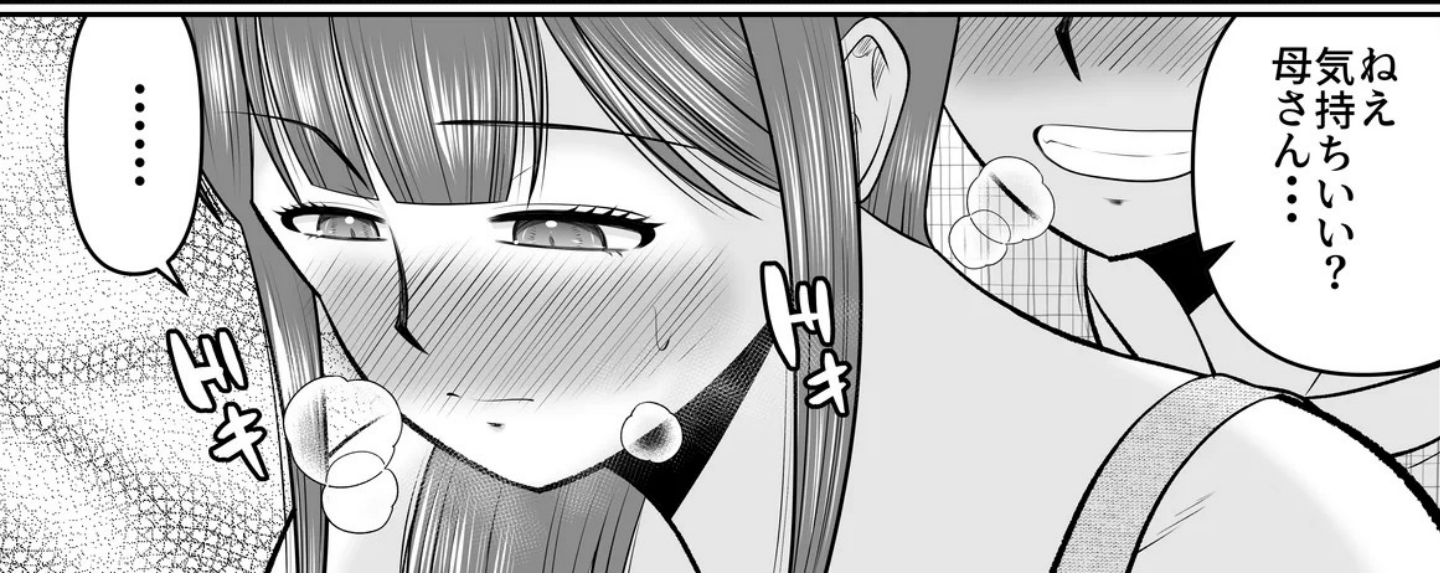
すごく
興奮する…っ！

そして
僕には…

これが片思いでは
無いという
確信があった

母さんを
抱きたい…っ！！

は





ああ……

もう少し押せば
できるぞ……



ほら
やつぱり!



あ……

母さんは僕の気持ちを
受け入れてるんだ……!



母さんとの
セックス……!!

はああんっ

あ♡

あ♡

んっ

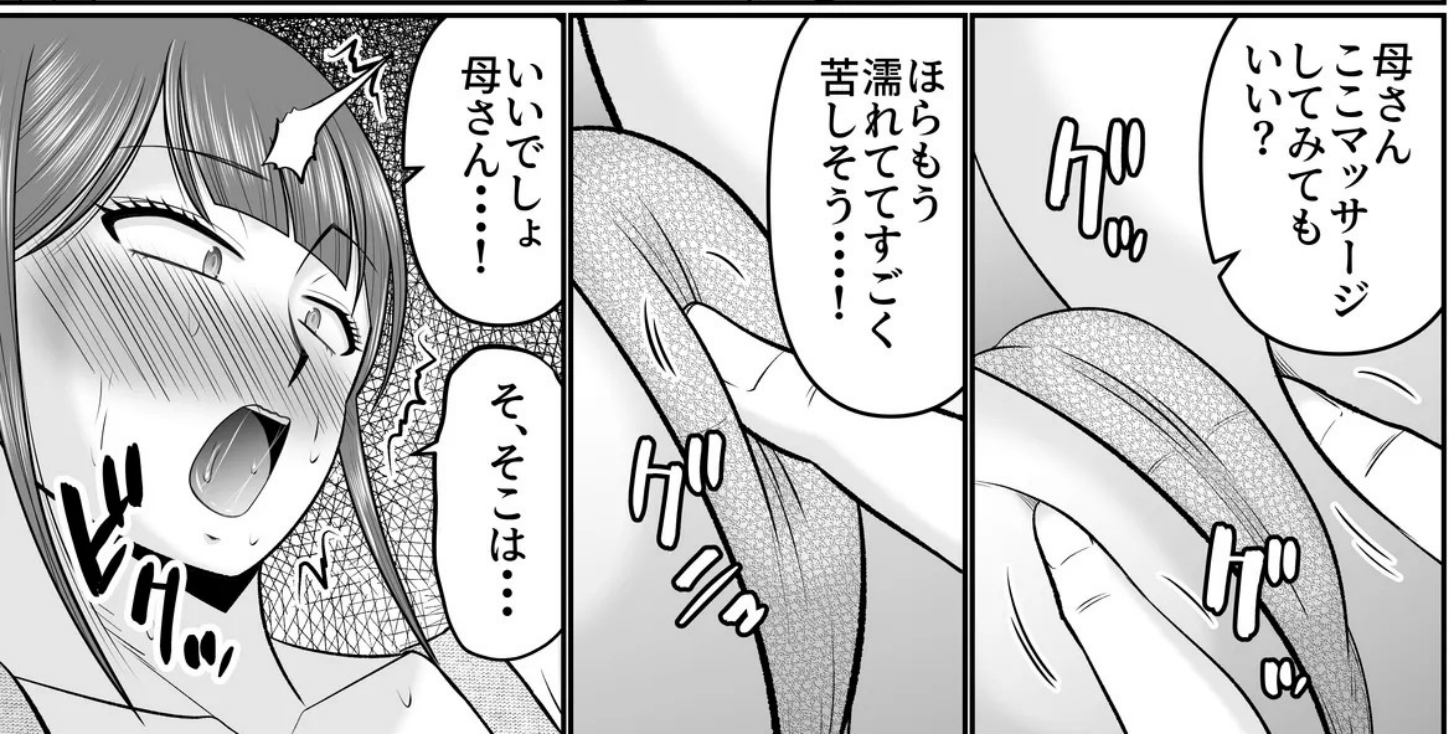
んっ

んっ



足を持ってよ
母さん

え?
ちよつと
ジュンくん...!?



いいでしょ
母さん...!!

そ、そこは...

ほらもう
濡れててすごく
苦しそう...!!

母さん
ここマッサージ
してみても
いい?

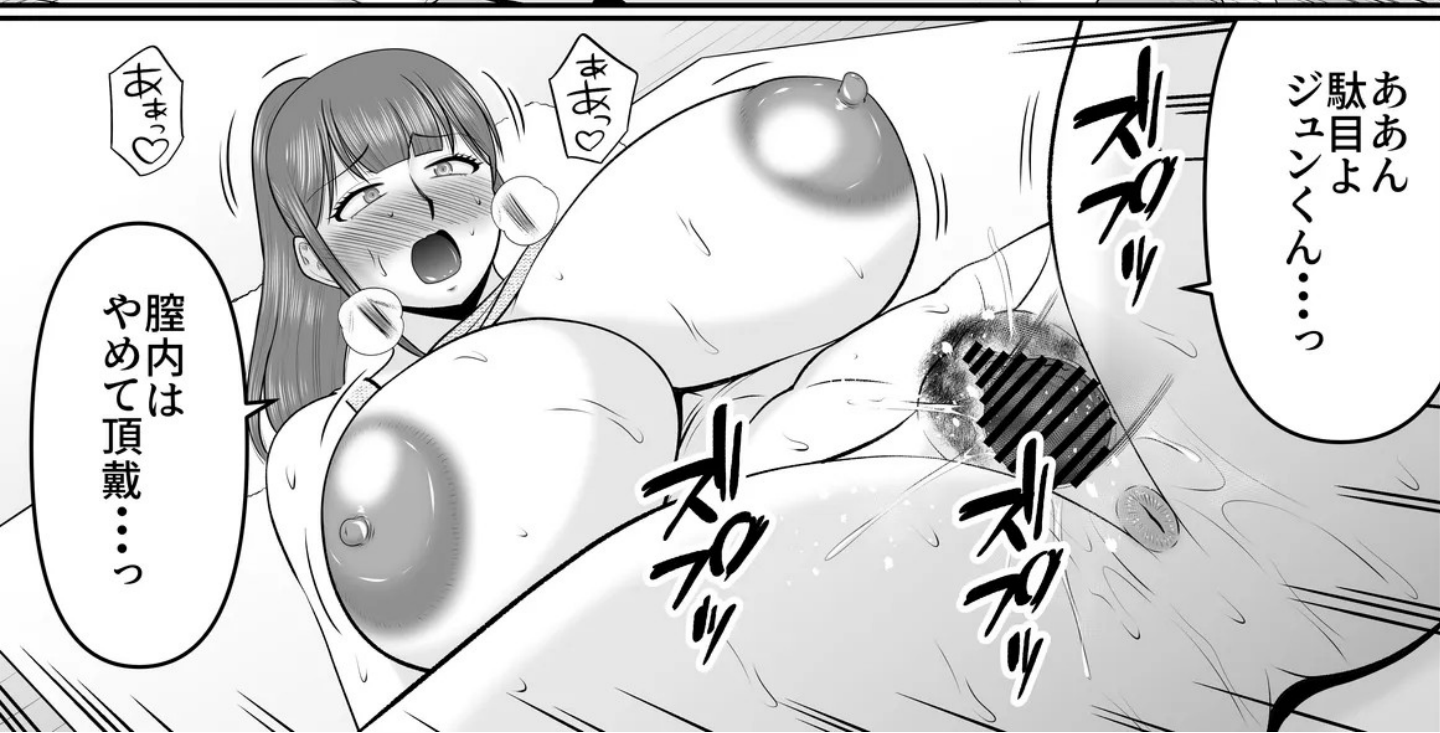














その後
僕と母さんは
話し合い……

このマッサージは
週に一回だけ
することに決まった

それはもちろん
母さんがこの関係に
危機感を抱いて
いたからだけど……

ねえ母さん
マッサージして
ほしくない？

だ、だめよ
ジュンくん
いまお料理してる
から……

一度
母とのセックスの
味を知ってしまった
僕が……

そんなの後で
いいでしょ？

ね？

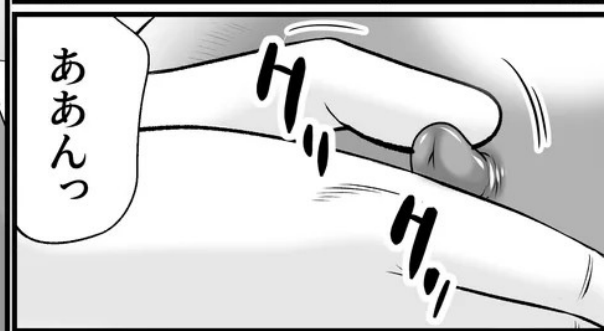
そんな約束を
受け入れる
はずもなく……

執拗に関係を
求めると……

やがて母さんも
受け入れるよう
になつていった……

あっ



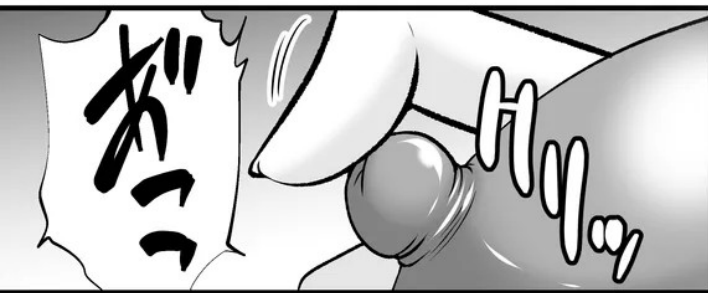




いい反応だよ
母さん…

そんなに
気持ちいい？

はあんっ



またマツサージが
欲しくなったら
いつでも言つてよ!?

あ…っ

は…っ











良かった！
母さんばかり
気持ちいいんじゃない
悪いもんね

……



…気持ちよかった？

う、うん
そりやもう…



母さん…



あ



ジュンくんの気持ち
すごく伝わったよ…
ありがとうね

これから
マッサージ…
よろしくね…！



それから
僕は母子は
堰を切った
かのように…

マッサージしたり…

まさぐりあったり…

愛し合ったり
するようになった…

いつまでも
続くような
甘い日々…

ジュンくん…っ

母さん…っ

それは
唐突に終りを
迎えることになった

え!? 父さん
帰って来るの!?

うん…
急な話なんだけど
1週間後に
戻るって…

ヒキッ

だから…
このマッサージも
もうお終いね…

あ、でも
マッサージは
続けてほしいの

あれ
すごく楽になって
気持ちいいから…

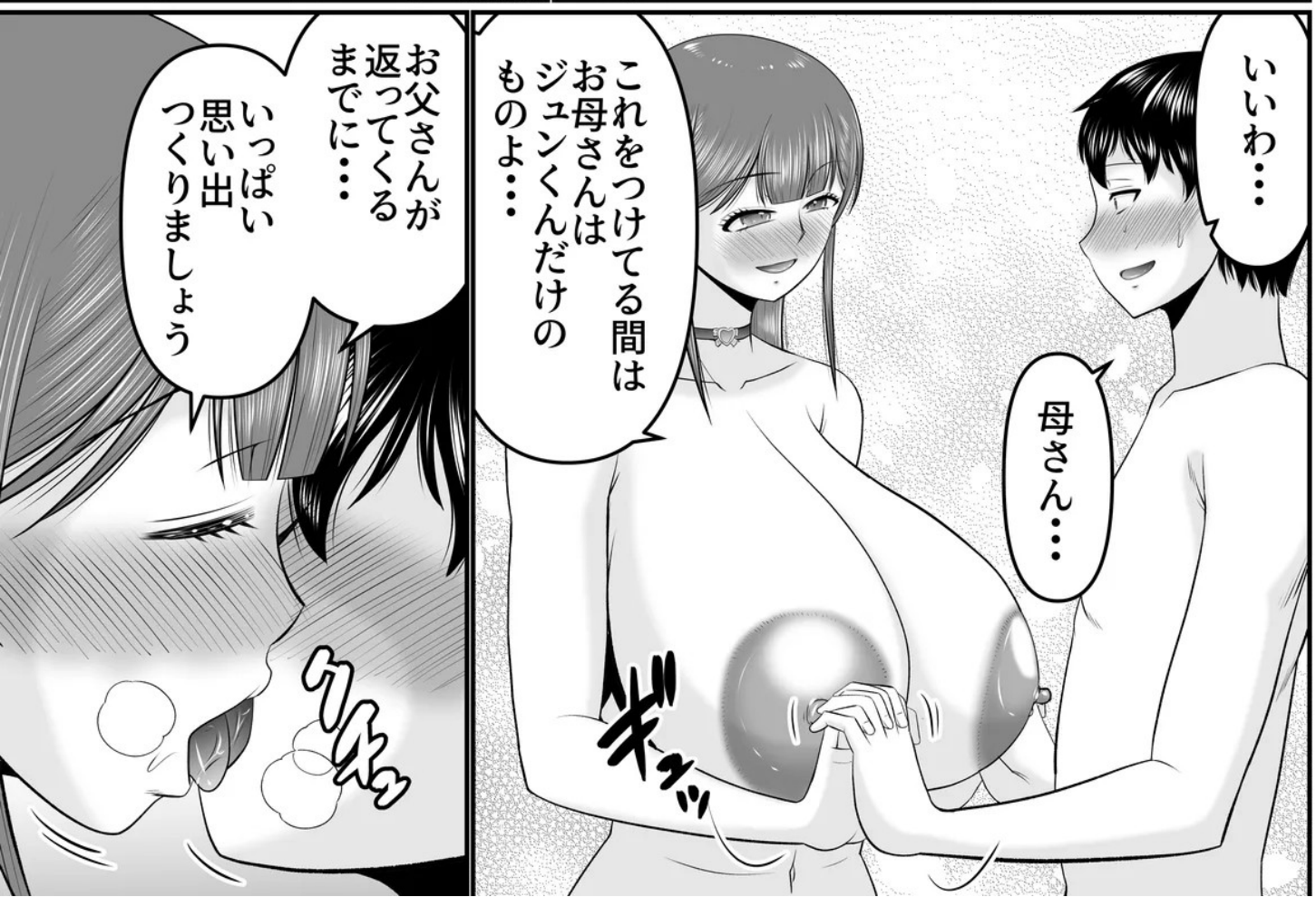
あ、このマッサージって
いうのは
本物のマッサージの
ことで…

ああん…
もういや…っ

ねえ
母さん…

ガラッ

このチョコカー
つけて
くれないかな





はあんっ

母さん...

なんか急に
激しく
なっていない...!?



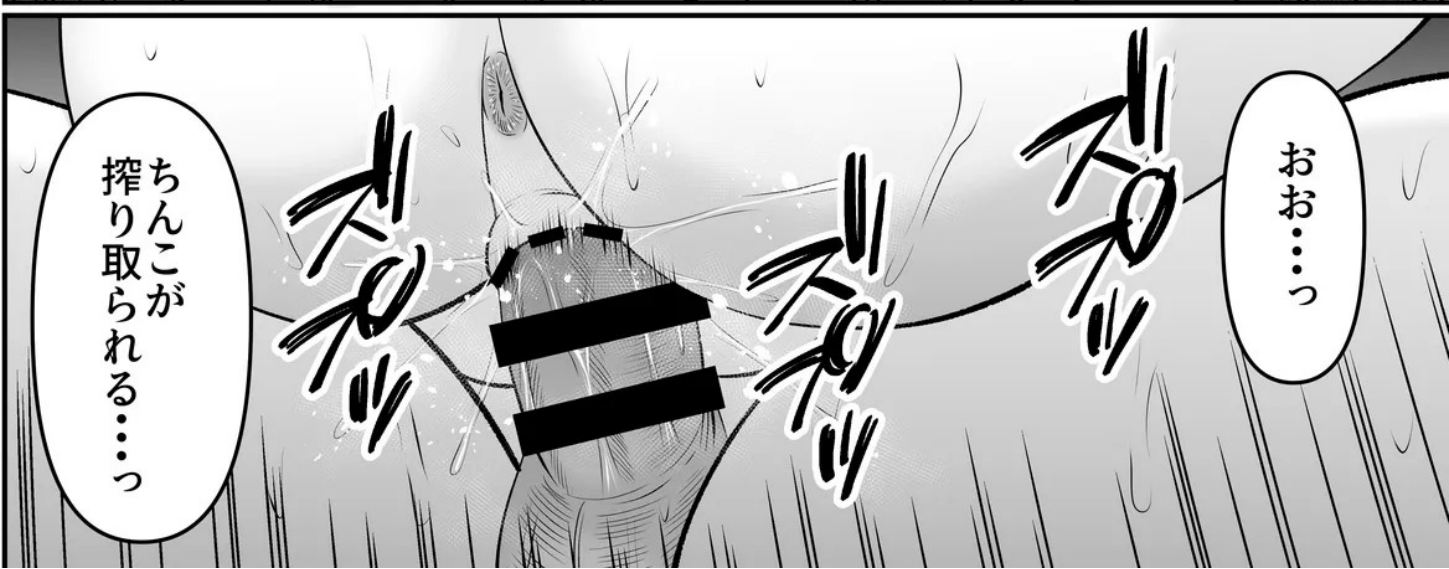
はあ...っ

ああ...っ



お母さん
頑張っちゃう
わよ...!

そりゃあ息子に
プレゼントなんて
渡されたら...



ちんこが
搾り取られる...っ

おお...っ









いつの間にか
立派に育って
母さん
うれしいわ…っ



まさかこんな形で
知るとは
思わなかったけど…



それまでの
間だけでも…

ジュンくんなら
きつと素敵な
女性と出会える
から…



母さんを...

ジュンくんの
女にして...っ！



母さん...っ

そろそろ
イクよ...っ



いいわ...
母さんももう
いきそうだから...っ

一緒に
イキましょう...！





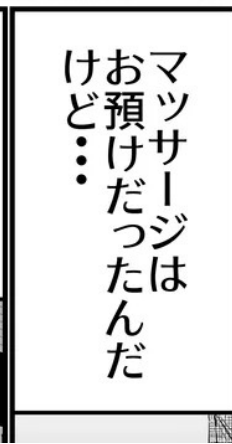
ああ…
自分から中出しを
求めるなんて…

でも…

なんて気持ち
いいの…っ!!



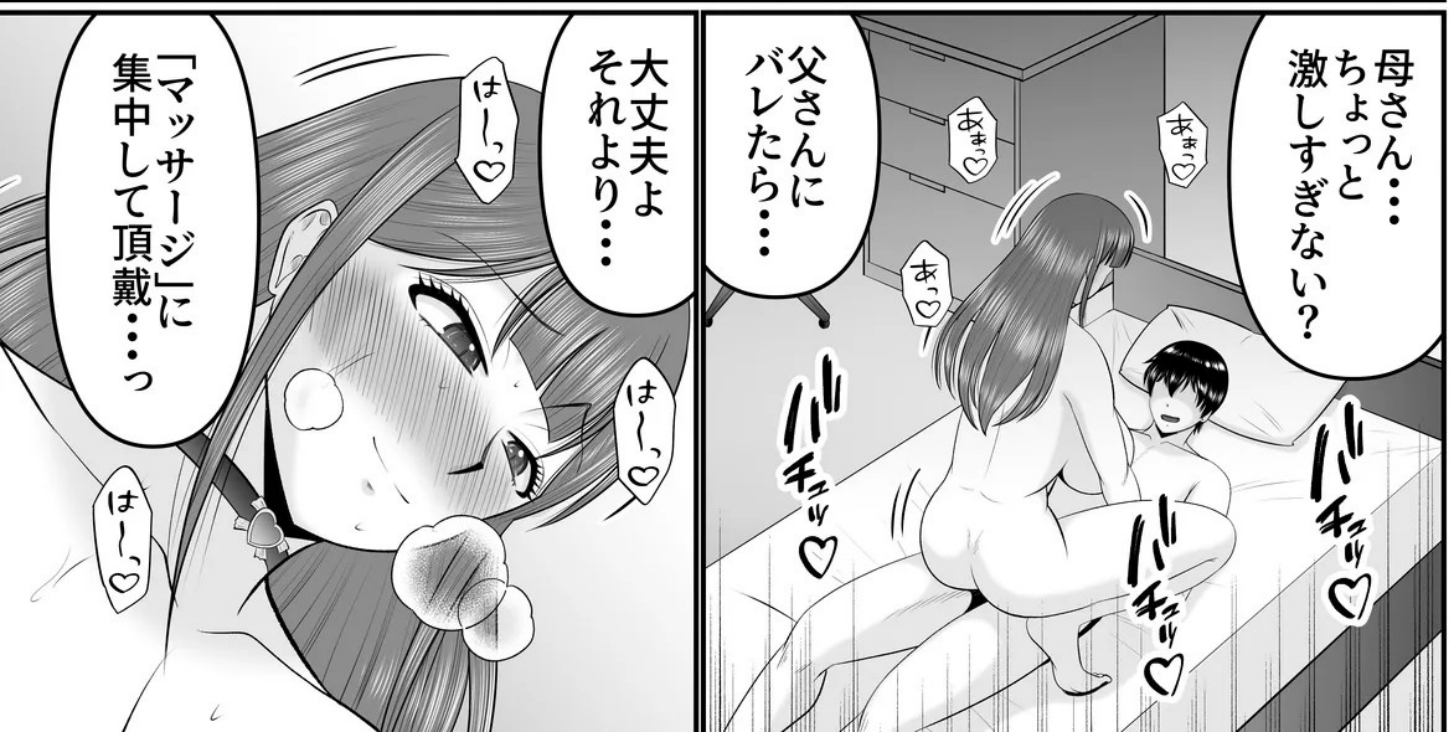
しばらく
すると...



マッサージは
お預けだったんだ
けど...



そして
父が帰宅...





すごく
気持ちよくって
お母さん…

ああ…いいわっ
ジュンくんの
「マッサージ」……っ

あっ♡

あっ♡

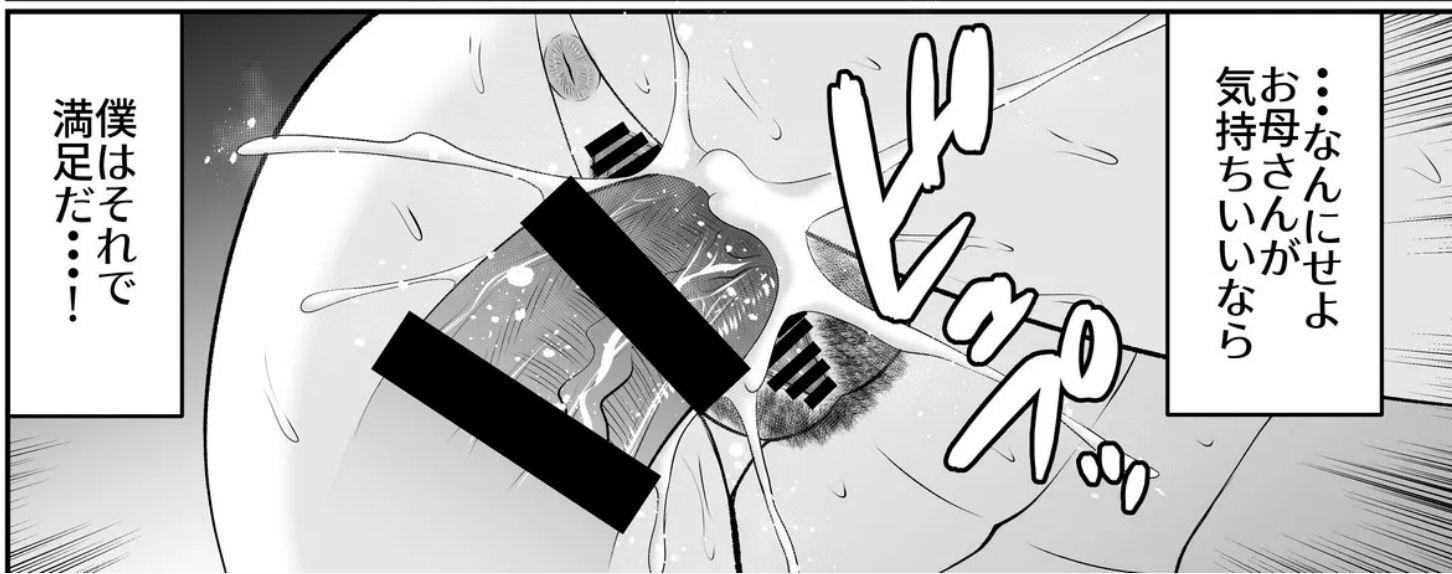


イッちやう…っ!!

あっ♡

あっ♡

あっ♡



…なんにせよ
お母さんが
気持ちいいなら

僕はそれで
満足だ…!



あとがき

この度は私の同人誌をお買い上げいただき
誠にありがとうございます。

活動範囲を上げていこうと試行錯誤した結果
ずいぶん久しぶりの同人誌になって
しまいましたがいかがだったでしょうか？
楽しんでいただけたら幸いです。

そうそう、活動範囲を広げるということでは最近
二次創作とかふたなりとかやれたら
面白いかなあと考えています。

まあやる時間があればですが…
(そして時間は永遠に足りないという)

いずれにせよ今後も同人活動は
続ける予定ですので
応援のほどよろしくお願いいたしますm(__)m

ではでは

2025.10.13
畠山桃哉



■おまけ

ラストシーンのボツ案。
父親にバレる寸前だったというオチに
しようとしたが
冗長になってしまったのでカット。

おかえりなさい

おっ

なんだ
起きてた
のか...!?

せっかく早く帰って
驚かせてやろうと
思っただのに...



危な
かった...

...

ははは

やっやっぱり
我が家は
落ち着くな



「やわはだ母さん」

発行日
2025年10月13日

発行者
コンフリートボックス/畠山桃哉

連絡先
h.thoya11@comp.sakura.ne.jp

印刷所
しまや出版



コンプリートボックス